

「孤立性線維性腫瘍の外科的切除例の検討」へご協力をお願い

一孤立性線維性腫瘍の治療を受けた患者さんへー 【通常診療情報の調査研究への使用のお願い】

高崎総合医療センター呼吸器外科では、公立藤岡総合病院と群馬大学医学部付属病院から情報の提供を受け、以下の臨床研究を行っております。内容をご確認ください。

（1）研究の概要

孤立性線維性腫瘍(solitary fibrous tumor ; SFT)は、間葉系細胞由来の稀な腫瘍です。多くは良性腫瘍で外科的完全切除後の予後は良好ですが、悪性の場合、再発や転移することが多く、長期の経過観察が重要であるとされています。

良悪性の判断は主に病理組織学的所見に基づきますが、病理組織学的に良性であっても悪性の転帰を示すものが存在することが知られており、長期の経過観察に加え、潜在的悪性度を有する症例の判別が重要と考えられています。本研究では、これまでに経験した症例を scoring system を用いた潜在的悪性度の評価について、検討を行います。

そのため、対象調査期間中に孤立性線維性腫瘍の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

（2）研究の方法

- ① この調査研究は高崎総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。
研究期間：研究機関長許可日 ～ 2024年11月1日まで
対象調査期間：2009年1月1日 ～ 2024年3月31日まで
- ② 今回の調査研究の対象は対象調査期間中に孤立性線維性腫瘍の治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データです。
情報：病歴、治療歴、臨床検査値、病理検査結果 等
- ③ 外部からの情報の提供
高崎総合医療センターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。
- ④ 通常の診療で得られたデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ⑤ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑥ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

⑦ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は高崎総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。

⑧ この調査研究は、研究費を使用しません。また特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

⑨ 研究組織

1) 「既存試料・情報の提供のみを行う機関」

公立藤岡総合病院 外科 館野 裕紀乃

群馬大学医学部附属病院 外科診療センター 呼吸器外科 矢澤友弘

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

高崎総合医療センター 呼吸器外科 部長

研究責任者：伊部 崇史

T E L : 027-322-5901(代) F A X : 027-327-1826(代)